

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第2回定例会で、26人の議員が行った一般質問の主な内容です。各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
※詳細は、8月中旬に発行予定の会議録をご覧ください(市内各図書館・両庁舎情報公開コーナー、議会事務局にあります)。

凡例
自由民主党西東京市議団 (自民)
西東京市議会公明党 (公明)
日本共産党西東京市議団 (共産)
みんなの党西東京 (みんな)
生活者ネットワーク (ネット)
民主党西東京 (民主)
無所属 (無所属)

深刻化する自殺問題へ対処を！官製ワーキングプア対策を！

納田 さおり (無所属)

【質問】平成26年度には公債費が70億円に達し、非常に厳しい財政状況になる。市の担税力を強化するために西東京マルシェ構想(直売所経営を中心とした地域活性化の複合プラン)、域内経済循環をもたらすリフォーム助成、市内5駅のエリアマネジメントの強化による立体的な歳入積み上げ策を提案する。

【答弁】めぐみちゃんマーケット(直売所)の幅広い活用を検討中である。リフォーム助成は慎重に検討する。エリアマネジメントの重要性は十分認識し、地域の顔、イメージづくりに努める。

【質問】市にとっても自殺は大きな社会問題である。田無駅東側踏切の自殺防止対策をはじめ、精神医療との連携強化、ライフサポート総合窓口の設置を。



相談支援センター「えぼっく」(障害者総合支援センター内)

坂口市政では何も進まない！市民目線の具体案を示せ！

酒井 豪一郎 (自民)

【質問】保谷町市民集会所について地域の貴重な集会施設として早急に改修せよ。

【質問】歩道橋の耐震化について新青梅街道を横断する歩道橋について、耐震化と安全点検を実施せよ。

【質問】田無駅南口駅前広場整備事業の進行スケジュールを示し、期待にこたえよ。

【質問】見守りについて。3年に1度実態調査をし、さまざまな仕組みと役割を明確にして、よりよい効果があるよう努力する。

【市長】平成25年度までに方向性をまとめる。

【市長】東京都へ要望する。

【答弁】平成25年度以降に事業認可取得手続、基本設計、実施設計等を進め、早期事業化を目指している。

【質問】1年間続けて放射線量を測定し公表してきた。問題点はあったか。

【質問】東伏見公園についてバス通り西側地域は公園計画が実現しないことを想定した生活環境が定着している。計画を見直せ。

【市長】東京都の重点公園として位置づけられている。市民が利用しやすい都立公園になるよう東京都に要望し、事業に協力していく。

【質問】道路幅は順次行っている。交通規制は田無警察に要請している。総合病院は早期着工を目指しているかと聞いている。

【質問】学校選択制を導入して10年になる。一定の検証をして今後を生かせ。

【質問】東側エリアの公園整備については人の呼べる公園にすべきだ。ドッグランを設置せよ。

【市長】東京都に伝えている。

【質問】環境、防犯、防災上の問題があるが、私的所有権の問題があり苦慮している。高齢者の実態把握と

【答弁】見直しを検討している自治体もあるが、本市のアンケートでは肯定的な意見が多く課題・問題もない。

【市長】前向きに検討する。

【市長】安全性、利便性に考慮し、適宜対応したい。

【答弁】道路幅は順次行っている。交通規制は田無警察に要請している。総合病院は早期着工を目指しているかと聞いている。

【質問】学校選択制を導入して10年になる。一定の検証をして今後を生かせ。

【市長】前向きに検討する。

【市長】安全性、利便性に考慮し、適宜対応したい。

【答弁】道路幅は順次行っている。交通規制は田無警察に要請している。総合病院は早期着工を目指しているかと聞いている。

【質問】学校選択制を導入して10年になる。一定の検証をして今後を生かせ。

障害者施策の推進とインクカートリッジ里帰りプロジェクトの活用

田中 のりあき (自民)

【質問】障害者就労施設からの物品等の調達推進法が施行予定だが、市としての対応を問う。また障害者施設が不足しているが、公民連携による公的機能の整備の視点から、公有地売却等に当たって条件付加の必要性の判断について問う。

【答弁】法が成立すれば平成25年4月1日から、障害者就労施設等の受注機会の増大を図る措置を講ずるよう努めることとなる。市全体として取り組む課題で、法の成立を見て適切に準備する。

【質問】三鷹市では、循環型社会の構築に向けた取り組みとして、プリンターメーカー16社が共同で実施しているインクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加して、平成24年4月1日から

使用済インクカートリッジの回収を始めたが、西東京市も検討すべきではないか。【答弁】インクカートリッジ里帰りプロジェクトについては、市民の資源循環への参加を促進するとともに、回収しやすい環境を整えるため、メーカーと調整を図り、環境施策の拠点施設であるエコプラザ西東京から設置していきたい。

市長は現場の努力をもっと知れ！任期が短いからと気を抜くな！

浜中 のりかた (自民)

【質問】生活保護の現状を問う！不正受給は許さない！

【質問】市の生活保護の現状は。【答弁】被保護世帯は増加傾向で、4月末現在で2千569世帯、3千673人である。

【意見】より安全性を高めるために、各学校やPTA等の関係団体の取り組みの支援力を入れるべきだ。違法行為で逮捕された市立学校の教員は、その後どうなるのか

【質問】市生活保護の現状は。【答弁】被保護世帯は増加傾向で、4月末現在で2千569世帯、3千673人である。

【意見】本場に困っている人を助けるために必要な制度だが、納税者の理解がないと成り立たない。国の制度なので、地方ができること

【質問】多発する通学中の痛みしい交通事故を受けて、どのような対応をするのか。【答弁】通学路の危険箇所の調査を行い、対応をした。

【質問】町会・町内会ゼロ地域で、地域ぐるみの防災活動の実現は？

保谷 なおみ (自民)

【質問】地域コミュニティの再構築と防災について

【質問】平成24年3月に教育委員会では災害時対応マニュアルを策定し、平成24年度中にも避難所運営協議会の設置を始める学校もあると聞く。この協議会に参加する地域住民代表は、町会・町内会長と位置づけられており、中町のような町会・町内会が存在しない地域では、協議会の参加者は極めて限定的になり、せっかくの防災活動が地域ぐるみの活動になり得ないと憂慮する。協働コミュニティ課の支援のもと、地域コミュニティの再構築を同時進行させるべきと考える。

【意見】現場の先生や子どもたちに負担をかけないように、善処してほしい。

【質問】発災直後は隣近所の共助が頼みの綱である。この共助の考え方を市民に周知し、コミュニティを通じて醸成してもらいたい。

【質問】防災計画を推進していくに当たっては、いわゆるPDCAサイクルをやっていく必要があると考える。

【答弁】避難訓練の実施の中で、回を重ねるごとに充実した内容になるようにしていきたい。

【その他質問等】

◆東伏見公園について ◆フェイスペインクの活用について ◆特別支援教育について

◆東伏見公園について ◆フェイスペインクの活用について ◆特別支援教育について



千駄山広場(東伏見1丁目)